

<様式3>

事業計画要旨(群馬の森)

1	申請者名	グリーンクラフトマン株式会社			
2	管理運営方針 (公益性)	<p>【管理運営方針】 『～交流・賑わい・いこい～ 人・みどり・文化が共生する公園づくり』</p> <p>グリーンクラフトマン(株)は指定管理者として、平成18年度から群馬の森をはじめとして県内5ヶ所の公園を管理してきました。これらの実績を踏まえて、利用者の立場に立ち、これからの3年間をさらに高い利用者満足度を得られるよう安全で快適な公園環境づくりを目指した管理運営を行います。</p> <p>・来園者が何度でも来て群馬の森を楽しみたいと思うような公園として維持管理を行うとともに近代美術館・歴史博物館への景観を大切にしながら群馬を代表とする魅力的な公園づくりを目指してまいります。</p>			
3	年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
収 支 計 算 書	総収入	36,180	36,180	36,180	
	内 訳	指定管理料	33,000	33,000	33,000
		利用料金	200	200	200
		その他	2,980	2,980	2,980
	総支出	35,824	35,824	35,824	
4	サービス等を向上させるための取り組み	<p>・自主事業については公園内で生じた枯れ枝やマツボックリを利用した工作教室など年間を通して切れ目なく行い、その他ジョギング教室、星空観察、木登り教室など当公園の特徴を生かした自主事業に取り組みます。</p> <p>・全員がスマートに要領よく説明できなくとも、どんなことでも誠意を持って丁寧に対応することを心掛けております。</p> <p>・現在公園の一部使用許可事務を指定管理者に委ねられたことから、迅速に公平、公正な処理を利用者側からの目線で行ってまいります。</p>			

	<ul style="list-style-type: none"> ・クレーム、事故対応については早急に現場に急行し早い段階で誠意を持って対応してまいります。人身事故の場合には救急車の要請など必要に応じ速やかな対応をします。
5 広報広聴への取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・公共・民間の施設への広報掲示依頼や、新聞、雑誌、テレビ、ラジオ、インターネット等を通じた広報活動を積極的に行います。 ・公園の案内パンフレットやポスターは、誰が見ても分かりやすいように写真や図解を用い、誰が読んでも分かりやすいように文章とデザインを工夫し作成します。 ・近代美術館・歴史博物館、他の県立公園と共有リンクをはり、情報の拡大を図ります。
6 県民との協働計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアや愛護会の受け入れや、地域住民との連携、子育てサークル活動の受け入れ、学校行事・体験学習・環境学習との連携、また園内に併設されている近代美術館や歴史博物館との連携を行い、公園の活性化、利用促進を図っていきます。
7 組織体制について	<ul style="list-style-type: none"> ・当社は、県内の造園業者4社によって設立された会社であります。主たる維持管理作業は、専門技術者・作業員が近代美術館歴史博物館が休館日なる毎週月曜日に行います。 ・職員は植物管理に関しては補完的な作業を担いますが、守衛室窓口業務、園内パトロール、遊具等の施設設備点検、トイレ清掃、四阿・ベンチ清掃などの日常業務を主として行います。
8 維持管理の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・樹林地の保護・育成や自然樹形を優先した剪定を行い、高効率な管理機材を導入し、適正なコストで、清潔で安全な施設を維持する管理を行います。
9 組織運営について	<ul style="list-style-type: none"> ・公園職員の業務や運営経費等のサポートを設立4社で安定した事業運営を図ります。責任者常駐の10名職員と造園資格者が維持管理に当たります。
10 知識・経験について	<ul style="list-style-type: none"> ・当社は県内5ヶ所の指定管理の実績があります。設立会社は専門的な緑地管理の知識と経験を持っています。公園管理運営士、造園施工管理技士、造園技能士、その他各技能講習の資格者の配置をしています。
11 情報管理に対する取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・情報管理については、当社の個人情報保護規程、情報公開規程により機密保持、個人情報保護、情報公開制度に適合した情報管理をいたします。

<p>12 安全管理への取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 安全の確保は、公園管理で最も重要なこととあります。利用者が安心、安全に時間を過ごせるように維持管理しなければなりません。事故が発生した場合には被害を最小限度に止め、再び同じことが発生しないよう対処することが公園設置者・管理者の責務と考えます。 • 遊具の安全点検は欠かせません。専門業者による点検と日常点検は緊張感をもって実施いたします。 公園施設や管理の不備による事故が発生しないよう公園設置者と連携を密に取りながら安全確保に努めます。
<ul style="list-style-type: none"> • 事故、災害等緊急時の連絡動員体制 	<ul style="list-style-type: none"> • 事故の発生の通報を受けた場合はまず被害者の保護・救護を行います。必要に応じて応急手当、救急車の要請や病院への搬送等の措置を迅速に行います。このため普段から消防、病院等の関係機関と連絡体制を整えておくとともに公園の守衛室に置いてあるAEDの取り扱い方法などは職員に随時教育を行い緊急時に適切に対応できるように体制を整えておきます。
<p>13 環境管理に対する取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 園内で発生する伐採木、剪定枝、落下枝の廃棄物をチップ化して舗装化されていない園路などに敷き込みます。落ち葉については、バックヤードの堆肥場で堆肥化して園内で利用するとともにボランティアとして落ち葉収集に協力していただける人に配布します。 • CO2削減への努力として、CO2を発生しない電動式の管理機械を使用し、チェーンソーを使用する場合には生分解性チェーンソーオイル使用します。 • タンク内にペットボトルを入れトイレの水の量を少し減らし、また可能な限り節水蛇口の導入を行い、水に対して空気を40%混入することで、手洗い場所で40%節水を行います。
<p>14 各公園の課題に応じた対応</p>	<p>【公園内の清掃に関する計画について】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 園路の清掃についてはシティースウィーパーを中心に行い、背負型ブロアー、ハンドブロアーを利用して落ち葉・ゴミを集めます。身障者施設の人達にも箒や熊手を使用して清掃活動をしてもらいます。 • トイレ清掃は、床、便器、手洗い、ペーパーの補充を最低週5日行います。月に1回は日常の清掃では行き届かないドアや壁面などトイレ全体の清掃を行います。

・四阿、ベンチ、遊具については巡回時に随時行います。鳥の糞で汚されている場合もありますので温水高圧洗浄機で清掃いたします。

・園路の U 字溝については、雨天時にうまく排水溝が機能するように受水口の清掃を常時行います。

【樹木や樹林帯、花壇の管理に関する計画について】

・貴重な樹林地を保全、育成、活用するための作業として下草刈り、実生木の切除、密集木の間引き等で樹林地を維持するように努めます。

・園路沿いの倒木、枝折れの危険性ある樹木については巡回時に目印をして経過を観察して処置します。必要に応じ頭上注意の表示や立ち入り禁止区域を設定します。なお、樹液が出るところにはスズメバチが飛来します。巡回時にスズメバチ専用の殺虫剤にて処理するとともに、スズメバチが好む当公園独自の専用液によるトラップにて大量に捕殺します。

【花壇や花植えを活用した魅力ある公園作りの取り組みについて】

・広場、園路沿い、樹林地などに宿根草、多年草、一年草などを植え、季節感を演出できる植栽計画をします。

・少しでも花を多く未利用地に増やし続けています。

・県の「花のゆりかごプロジェクト」という住民参加型の花と緑あふれる街・里づくり事業の受け皿となり、種まき・鉢上げ講習会を実施しています。来年度以降も引き続き受け皿となり花とのかかわりを継続し、この事業と並行して種から花苗を育て、園内に小さな花壇を増やしてまいりたいと思います。

【園内施設の活用や連携に関する計画について】

・県立近代美術館と歴史博物館が併設された群馬県を代表する芸術と歴史の活動拠点であります。それぞれの機能を十分に発揮するためには、近代美術館、歴史博物館、公園の3者が連携して情報を発信していくことが重要であります。

・公園の守衛室は公園全体の総合窓口として美術館、博物館のイベント情報や開館情報を共有し、入場者数を予測して駐車場利用の調整をします。

	<ul style="list-style-type: none"> •公園側としては以前も行っていた共通テーマを設けてイベントを実施したいと思います。
<p>15 その他提案事項</p>	<ul style="list-style-type: none"> •県のリニューアル計画の中で、利用者から目を向けられていない「かたらいの丘」や「わんぱくの丘」など旧陸軍火薬製造所の貴重遺跡を残すこと、花がないと言われる森林に覆われた半日陰の多いこの森に適した花の群生地を設けるなど群馬の森全体の新しい姿を描いていただきたいと思います。 •群馬を代表する芸術、文化、歴史の情報発信基地としての位置付けが重要であります。公園管理者と美術館、博物館の三者が相乗効果を出してその効果を発揮したいと思います。三者が連携して共通テーマを設けてイベントを以前のように実施しています。